

令和7年度 松本市地域チャレンジ応援事業補助金 町会チャレンジの部 採択事業一覧(当初募集分)

地区	No.	区分	事業名	団体名	申請額(円)	事業概要
安原	1	町会	広報仕分け・配布作業お手伝い事業	両下町町会	59,500	町会役員の負担軽減のため、町会内に7つある組の中から隔月で4名にボランティアで参加いただき、広報の仕分けや組長宅への配布をお願いする。
松南	2	町会	宮田中町会納涼祭	宮田中町会	86,000	夏に納涼祭を初開催し、町会内の世代間交流に役立てる。また、伝統行事の継承に繋げたいもの。
中山	3	町会	LINE WORKS 活用ステップアップ事業	なかやまLWでつながる会	200,000	・LINE WORKS導入・操作説明会の開催 ・操作マニュアル、FAQの作成 ・情報発信リーダー育成事業、掲示板活用促進事業
	4	町会	地域猫（野良猫）の去勢手術実施事業	埴原北町会	50,000	・保健所と連携し、移動手術車にて去勢手術 ・事前に飼い猫のいる家への周知 ・去勢手術時のシートなど消耗品購入
寿	5	町会	白川町会「夏祭り30周年」記念事業	白川町会	200,000	毎年8月14日に白川公民館で開催している「夏祭り」を、昔実施していた白川農村公園で盛大に開催する。開催にあたっては、筑摩野中学校の「CSふたむら」のほか、育成会や寿小学校PTAにも協力をもらって実行委員会を組織して行いたい。ステージコンサート、花火の打ち上げなど。白川農村公園の利用促進も図る。
寿台	6	町会	寿台2丁目町会デジタル化事業	寿台2丁目町会	200,000	配布文書及び閲覧文書を電子データ化し、スマートフォンまたはパソコンから閲覧可能な環境を構築する。町内会への連絡事項等をタイムリーに発信し、町民に周知する環境を構築する。高齢者やITに不慣れな方にも分かりやすい講習会を複数回実施し、町民に周知使用できるようにしていきたい。
島内	7	町会	町内会デジタル回覧・通知連絡・情報管理向上を目指したアプリの導入	ウッドタウン小宮町会	100,000 → 0	少子高齢化の進行に対し、町内会運営負担軽減と情報伝達の迅速化・効率化を目指して、回覧・通知連絡・情報管理のデジタル化を図るために、PC・スマホで運用できるアプリの導入を図る。
島立	8	町会	南栗防災情報全戸ネットワーク	南栗町会	200,000	LINE公式アカウントを活用し、町会役員（町会長、公民館長、副町会長、副公民館長）及び民生児童委員と町会住民とをLINEで繋げ、防犯防災活動、福祉活動の促進及び町会活動、公民館活動の効率化を図る。
和田	9	町会	下和田町会のDX推進	下和田町会	200,000	DXを推進して、町会運営の効率化を図り、活性化を促進する。 ①SNSの利用 ②ペーパーレス化 ③IT環境の整備 ④ICT講習会の開催
	10	町会	町会情報ネットワーク構築事業	衣外町会	17,000	市・町会の情報伝達や会員の意見集約及び情報交換の促進を図る。 ・自治ナビアプリ導入に向けての説明会 ・アプリ講習会、活用促進 ・町会会員からの意見集約及び方向性の検討
神林	11	町会	南荒井町会のDX推進	南荒井町会	30,000	町会住民サービスの向上、情報伝達の迅速化、世代を超えた参加促進を目的として、デジタル技術の活用を進め、地域コミュニティの活性化と持続可能な町会運営を目指す。 ・公民館予約アプリ「りぎぶ郎」の導入 ・スマホ講習会、講習会開催時のwifi環境の整備
	12	町会	川東アウトドアパーク整備事業	川東町会	170,000	公民館の中庭を整備し、身近な公民館を拠点にして、子どもから高齢者まで世代を超えた交流の場、地域の絆を強め孤立や防災への備えにもつながるコミュニティづくりを推進。 1 中庭の環境整備（築山、BBQピット等） 2 アウトドアを活かしたイベントの実施 3 作業・運営ボランティアを募集
波田	13	町会	12区寄りあい1コイン交流会	12区町会	200,000	地元小中学生運営のもと、新旧住民の融和と世代間交流の場として、新たに夏の交流会事業を継続実施していくもの。